

男子決勝リーグ戦評①

令和6年7月28日	A②	11:35	枚方市立東香里中学校	16	14	13	19		62
はびきのコロセアム			高槻市立第六中学校	13	8	10	24		55

東香里5・9・10・22・55、高槻六4・5・6・7・8でゲームスタート。高槻六7のドライブ、東香里22のジャンプシュートで試合が動き出す。ディフェンスは両チームハーフコートディフェンス。東香里14ドライブ、22インサイドで加点、高槻六7の1on1で加点し、東香里が3点リードで第1Qを終える。第2Q、東香里22のジャンプシュート、9の速攻で20-13となり高槻六タイムアウト。タイムアウト後、高槻六7のドライブや4のジャンプシュートで反撃するも、東香里3のスリーポイント、55のドライブ、残り59秒で高槻六が2回目のタイムアウト。その後、両チーム得点できず30-21東香里リードで前半を終える。

後半は、東香里5・9・10・22・55、高槻六4・5・7・10・14。東香里9の速攻からのバスケットカウント、エンドプレーから55の得点、16のオフェンスリバウンドからのバスケットカウントなどで得点を重ねる。高槻六は7の1on1を中心に得点を重ねていき、43-31東香里リードで第3Qを終える。

第4Q、東香里5のシュートから始まるも得点が伸びず、残り6分46秒で東香里タイムアウト。タイムアウト後、東香里22のジャンプシュート、55のドライブ、高槻六6のジャンプシュート、7のスリーポイントで得点を重ねていくが、東香里3の速攻が決まり、高槻六がタイムアウト。タイムアウト後、高槻六6のジャンプシュート、10のゴール下などで追いつけるも、62-56で東香里が勝利した。

記入者：秋山・齊藤

令和6年7月28日	B②	11:35	摂津市立第四中学校	6	15	20	10	2	53
はびきのコロセアム			堺市立長尾中学校	11	12	16	12	8	59

摂津四4・6・8・10・17、長尾4・5・6・7・13、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。気持ちの入ったハードな守りが続く中、摂津四は17のドライブ、長尾は4・5のドライブやスリーポイントで突き放しにかかる。1Qを終了して6-11で長尾がリード。2Qは摂津四が連携の取れたチームDFからブレイクを出し、残り4分で逆転に成功する。その後は摂津四は8のリバウンドやポストプレー、長尾は5のドライブやスリーポイントで得点を重ね23-21、長尾リードで前半が終了した。

摂津四4・6・8・10・17、長尾4・5・6・8・13でスタート。開始早々、長尾は6のドライブや5のファーストブレイクでバスケットカウントを獲得し、流れをものにする。対する摂津四は8の力強いオフェンスリバウンドや10のスティールからの速攻ですぐに同点に戻すと、ここまでテンポの重かったゲームが一変し、スコアが加速する展開になった。長尾は6の力強いドライブと5のスリーポイントでスコアを伸ばし、摂津四は8の強力なリバウンド、4のスリーポイント、クォーター終了間際に17がドライブを決め、41-39摂津四リードで第3Qを終了した。第4Qはリードしている摂津四がトラップを仕掛け5点差まで離すが、長尾5の連続ディープスリーで再び逆転する。お互い2点を争うハードな守りが続く中、長尾がこのまま勝利すると思われたが、摂津四の4がブザービートスリーを見事きめ、延長戦に突入した。

延長戦は摂津四17のミドルショット、長尾は5のドライブや残り1分の要所でのスリーポイントで突き放し第一戦を制した。最後まで粘り強く戦い抜いた両チームの健闘をたたえたい。

記入者：尾形・米山

男子決勝リーグ戦評②

令和6年7月29日	A②	11:35	枚方市立東香里中学校	19	5	18	15		57
	東大阪アリーナ		摂津市立第四中学校	13	10	14	16		53

第1Q、東香里5・9・10・22・55、摂津四は4・6・8・10・17でスタート。先制点は摂津四17がゴール下のシュートを決める。東香里10もオフェンスリバウンドを取り得点。エンドのセットプレーから東香里9がスリーポイントを決め、摂津四がタイムアウト。タイムアウト後も東香里がリバウンドやゴール下のシュートを決め、1Qを19-13で終える。

第2Q、東香里5・14・10・22・55、摂津四は同じメンバーでスタート。両チームお互いに得点し、一進一退の状況が続く。摂津四がタイムアウトの後ディフェンスでプレッシャーをかけ、17のドライブなどを中心に得点。第2Qを24-23で終える。第3Qの始まりは、両チームスターティングメンバーでスタート。開始早々、東香里のミスもあり、摂津四17の得点で逆転に成功するが、東香里55がドライブからファウルを誘い、フリースローで同点になる。その後、東香里が速い展開から9を中心に得点を重ねる。摂津四も4のミドル、10・17のドライブで応戦し、お互いに点を取り合う展開になる。第3Q終盤、東香里がポストアップから得点を重ね、42-37で3Qを終える。

第4Q開始から東香里は速い展開に持ち込み、摂津四のファウルを誘い、22・55を中心に得点する。摂津四は4のスリーポイント、17の激しいディフェンスからスティールし得点を重ねる。摂津四は4のドライブで相手のファウルを誘い、45-46と逆転するも、すぐさま東香里は速攻やリバウンドから得点し流れを取り返す。第4Q終盤、一進一退の攻防が続くが、終始ゴール下での攻防を有利に進めた東香里が57-53で2勝目を収めた。

記入者：松林・岡

令和6年7月29日	B②	11:35	高槻市立第六中学校	15	11	17	17		60
	東大阪アリーナ		堺市立長尾中学校	11	12	11	18		52

高槻六5・6・7・8・10、長尾4・5・6・7・13で1Qスタート。高槻六7のディープスリーで先制。長尾5のドライブ、スリーポイントでリズムを作る。両チームともに外からのドライブ、スリーポイントを中心に攻撃。その後、高槻六5・7・8で得点を重ねる。開始4分、長尾5から13のバックカットへのパスがきれいに決まり高槻六がタイムアウト。両者ハーフコートDFでドライブをケアしながらしっかり守る。その中、長尾5・4のドライブ、対する高槻六は8のスリーポイント、10のリバウンドシュートで得点し、15-11で高槻六リードで1Q終了。

2Q、高槻六5・6・7・8・14とメンバーを変えてスタート。対する長尾は1Qと同じメンバーでスタート。開始1分35秒、長尾5のスリーポイントで先制。対する高槻六は14のスリーポイントで返す。高槻六は長尾4のボール運びやドライブに対してファウルを重ねる。長尾は4のスピードある展開で流れを作る。高槻六14の得点で流れを維持。残り1分57秒、長尾5のスリーポイントで2点差に追いつくも、すぐに高槻六14のミドルシュートで得点を返され、長尾がタイムアウトを取る。高槻六はリバウンド、ルーズボールを頑張り、7のジャンプシュートで得点し、2Qを26-23高槻六リードで終了する。

後半開始、高槻六5・6・7・8・10、長尾4・5・6・8・13でスタート。高槻六7の速攻から得点するも、直後に長尾13・4のドライブからのパスに6が合わせ得点する。前半同様、高槻六は球際でねばり強く攻防し、7を中心に攻撃を展開。長尾も4・5を中心に攻撃を組み立てる。長尾5のスリーポイントで1点差に迫る。残り2分、高槻六7のスリーポイントが決まるが、その後も一進一退の流れが続く。高槻六は8がファウルをもらいフリースロー、7のスリーポイントカウントワンシュートを決め試合の流れを引き戻していく。対する長尾は4・5と連続得点するが、高槻六も7・6の連続得点で返し、43-34で高槻六リードで終了する。

4Q、高槻六は5・6・7・8・10、長尾は4・5・6・8・13でスタート。長尾5のパスカットからのドライブやスリーポイントで得点。高槻六は5・7の攻撃で得点を返す。長尾がタイムアウトを取るが高槻六の勢いを止められない。長尾も6がドライブからのカウントワンシュートを決め、5のゴール下、4のドライブからの得点で粘り強く食らいつく。残り3分、長尾4が4つ目のファウルをとられるが、全員でリバウンド、ルーズを頑張り、8のフリースローや、5がドライブからファウルをもらいフリースローを2本とも沈め逆転する。たまたま高槻六はタイムアウトを取る。高槻六は7の連続得点で3点リードとし、またファウルをもらい、長尾のチームファウル5回目によるボーナスシュート2本を決め56-51と点差を広げる。長尾はディフェンスでプレッシャーをかけるが、高槻六7がその激しいディフェンスをかいくぐり、カウントワンシュートでフリースローを決める。両者激しく攻防しあう中で、長尾5が負傷しベンチへ。長尾はスリーポイントを狙い最後まで粘るが、60-52で高槻六が勝利する。

記入者：岩木・沖田

男子決勝リーグ戦評③

令和6年7月29日	A④	14:35	堺市立長尾中学校	7	11	18	7		43
	東大阪アリーナ		枚方市立東香里中学校	18	6	20	17		61

スターティングメンバーは長尾4・6・7・8・13、東香里5・9・19・22・55。緊張感のある雰囲気の中で行われた決勝リーグ最終試合、両者ハーフコートディフェンスで守備を固める。先制点は長尾7のゴール下。すぐさま東香里は9のスリーポイントで反撃。その後、一進一退の展開となるが、交代で入った東香里16がスリーポイント、ゴール下と連続得点し、第1Qを18-7で終了。

第2Q、長尾6のスリーポイント、4のドライブ、5の1on1で流れを掴もうとするが、東香里は22を中心にペイントエリアで得点し、リードを許さない。両者シュートが決まらない我慢の時間が続き、前半を24-18と東香里の6点リードで終える。

第3Q、長尾は5が開始から出場。長尾5のミドル、スリーポイントが入り東香里のタイムアウト。タイムアウト後も長尾は4・6のドライブを中心に得点し逆転に成功。しかし東香里は10のゴール下でのバスケットカウント、55のドライブ、16の速攻からのレイアップを決め44-36と8点のリードを奪い第3Q終了。

第4Q、長尾は5を中心に攻めるがなかなか得点が入らずタイムアウト。タイムアウト後は東香里22が得点を重ねリードを広げるが、長尾4・5のオールコートディフェンスからのレイアップで点を縮めることに成功し、東香里のタイムアウト。冷静さを取り戻した東香里はバランスよく得点し再度リードを広げる。最終61-43で東香里が長尾に勝利した。

記入者：岩木・井上

令和6年7月29日	B④	14:35	摂津市立第四中学校	17	15	12	13		57
	東大阪アリーナ		高槻市立第六中学校	16	15	11	20		62

摂津四4・6・8・10・17、高槻六5・6・7・8・10でスタート。高槻六8の連続スリーポイントから試合が始まる。また7のドライブ、ジャンプシュートで得点を重ねる。摂津四は6のポストプレーを起点にオフェンスを行い、4・10のスリーポイントで得点をねる。17-16で第1Q終了。

第2Q、摂津四4・6・8・10・17、高槻六5・6・7・8・10でスタート。摂津四は7のドライブ、リバウンドからのシュートで得点を重ねる。高槻六もオフェンスリバウンドが強く、何度もオフェンスのチャンスがあったが摂津四のディフェンスのプレッシャーもあり中々得点につながらない。お互い流れをつかみきれないまま第2Q終了。

第3Qは摂津四4・6・8・10・17、高槻六5・7・8・10・14でスタート。第3Qも一進一の攻防が続く。摂津四は8のリバウンドシュート、17のジャンプシュートで得点する。高槻六は8のジャンプシュート、7のドライブで得点を重ねる。高槻六が4のリバウンドで流れを掴んだかと思ったが、摂津四8・17の得点でついていく。第3Qを44-42で終了。

第4Q、摂津四4・6・8・10・17、高槻六5・6・7・8・10でスタート。高槻六が8のスリーポイントとドライブ、7のドライブで得点を重ねる。摂津四は10のスリーポイント、4のドライブで得点を重ねる。終盤、高槻六10の合わせ、7のスリーポイントにより点差を離そうとするが、摂津四も17のドライブでくらいついていく。摂津四はダブルチームを仕掛けボールを奪いにいくが、高槻六がそれをかわし、57-62で試合終了。

高槻市立第六中学校が近畿大会出場を決めた。敗れはしたが、今大会最後まで粘り強く闘い、最後まで諦めなかった摂津四中の健闘を讃えたい。

記入者：湯井・村岡

女子決勝リーグ戦評①

令和6年7月28日	A①	10:00	樟蔭中学校	10	14	14	11		49
はびきのコロセアム			大阪薫英女学院中学校	9	18	9	10		46

スターティングメンバーは樟蔭4・5・6・7・8、大阪薫英4・8・9・10・11。試合開始から両者チャンスを作るものの、得点にはつながらず拮抗した展開となる。大阪薫英4のミドルシュートが先制点となるが、すかさず樟蔭4が連続得点。献身的にペイントエリアでプレーしている樟蔭5がゴール下を決め、第1Qを10-9で終える。第2Q、樟蔭7ミドルシュート、4のスリーポイントが決まり、大阪薫英がタイムアウト。その後、強度の高いディフェンスからの速い展開が続く、大阪薫英8のレイアップ、4のカッティング、11のレイアップがバスケットカウントとなり逆転に成功。前半を27-24と大阪薫英が3点のリードで終える。第3Q、樟蔭4がファウルトラブルでベンチに下がるが、樟蔭6の連続スリーポイントで逆転。その後、一進一退の展開が続くが、樟蔭5のリバウンドからのシュートが決まり樟蔭の2点リードで終了。第4Q、大阪薫英8のドライブからファウルを誘い、フリースローを2本とも決め同点に追いつくが、樟蔭5がゴール下のシュートをねじ込み、8がリバウンドからのバスケットカウントでリードを広げる。その後、大阪薫英4のミドルシュート、ドライブからのフリースローを2本とも決めて猛追するも、樟蔭4がシュートを決め49-46で試合終了。決勝リーグ初戦に相応しい、緊張感のある素晴らしい試合をした両者の今後の活躍を期待したい。

記入者：村本・井上

令和6年7月28日	B①	10:00	大阪市立城陽中学校	13	9	6	11		39
はびきのコロセアム			高石市立高南中学校	22		12	15		49

城陽4・5・7・11・14、高南4・5・8・9・10 城陽ハーフコートマンツーマン、高南オールコートマンツーマンでゲームスタート。序盤から高南はディフェンスからの速攻で5や9が得点を重ねていく。4分が経過したところで城陽がタイムアウト。タイムアウト明け、城陽は11、14への合わせなどで得点し、連続9得点のスコアリングラン。その後、城陽はバスからの合わせ、高南は9のリバウンドシュートで互いに得点し、13-22で1Q終了。第2Qに入っても城陽は14のゴール下シュートや11のスリーポイントで得点、高南は1on1を中心に11や5が得点をし、一進一退の攻防が続く。22-33で前半終了。第3Q、高南は前半以上にオフボールの選手の動きがよくなり、ボールがよく動くオフェンスを展開する。しかし、城陽の高さが高南のオフェンスを阻み、お互い決定打がなく3分間両チーム無得点の時間が続く。均衡を破ったのは高南の激しいディフェンスから5の得点。その後もディフェンスから連続得点となったところで城陽はたまたまタイムアウトをとる。城陽は14のインサイドを中心に反撃を試みるも少しずつ足が止まり、高南のディフェンスにつかまり始める。28-45で3Q終了。第4Q、高南は5のシュートで先制。城陽も14の高さを中心に攻めるが、ディフェンスの強度とオフェンスの手数で勝る高南がじりじり点差を広げていく。城陽はオフェンスリバウンドを頑張るも、なかなかシュートが決まらない。高南は終始安定したディフェンスを続け、最終スコアは39-60で高南が勝利した。点差は開いたものの、両チーム持ち味を發揮した決勝リーグのオープニングに相応しいゲームであった。

記入者：池島・岩橋

女子決勝リーグ戦評②

令和6年7月29日	A①	10:00	樟蔭中学校	22	20	11	18		71
	東大阪アリーナ		大阪市立城陽中学校	6	7	14	2		29

樟蔭4・5・6・7・8、城陽4・5・7・11・14でスタート。樟蔭は序盤から積極的なディフェンスでプレッシャーをかけ、相手のミスを誘う。攻撃では4が中心となり、速攻やスリーポイントで得点を重ねる。一方の城陽は14がゴール下で体を張ってリングに向かう。22-6、樟蔭リードで第1Q終了。

2Q、樟蔭は出だしからプレッシャーをかけてボールを奪い、7の1on1やスリーポイントで点差を広げる。対する城陽も11のスリーポイントや7のドライブで必死に食らいつく。42-13、樟蔭リードで2Q終了。

3Q、城陽は7、11を中心に攻撃を組み立て、1on1やスリーポイントで得点する。また14、15が積極的にオフェンスリバウンドに飛び込んでチームを支える。一方の樟蔭もテンポよくシュートを打ち続けるが、リングに嫌われてしまう。53-27、樟蔭リードで3Q終了。

4Q、樟蔭13がドライブ、スリーポイントと活躍を見せる。対する城陽も果敢にリングをアタックを試みるが、樟蔭の粘り強いディフェンスの前になかなかシュートまで持ち込むことができない。71-29、樟蔭が決勝リーグ2勝目を収めた。

記入者：沖田・牧

令和6年7月29日	B①	10:00	大阪薫英女学院中学校	8	21	20	17		66
	東大阪アリーナ		高石市立高南中学校	22	21	11	15		69

第1Q、薫英4・8・9・10・11、高南5・6・8・9・10でスタート。高南8のドライブからファールをもらいフリースローで初得点を上げる。その後も高南の激しいディフェンスからボールスティールし、高南9のハイポストからのジャンプシュートを決めたところで薫英がタイムアウト。しかし高南のオールコートディフェンスに上手くボールがつかず、高南5の連続スティールや8のスリーポイントなどで13-0となったところで薫英が2回目のタイムアウト。その後、薫英4のドライブから初得点。薫英4→8の合わせや5・8のフリースローで加点するも8-22で第1Qを終える。

第2Q、薫英8のドライブからファールをもらい、3点プレイでスタート。その後、薫英6のスリーポイントで9点差とする。高南は8のスティールや10の1on1で加点。一方の薫英も4の1on1を中心に、8や10のシュートで応戦。残り4分12秒となったところで高南がタイムアウト。その後も薫英は4を中心に加点。高南も5・10の1on1、4のスリーポイントで得点。一進一退の攻防が続く29-43で第2Q終了。

第3Q、薫英4・8・9・10・11、高南4・5・8・10・12でスタート。高南8のリバウンドからの1on1、スリーポイント、ジャンプシュートで加点。対する薫英は11のゴール下シュート、4→8・10の合わせで加点し、残り3分27秒、37-52となったところで薫英がタイムアウト。その後、薫英8のドライブ、6がシュートを決める。高南8がジャンプシュートを返すも、薫英8がスリーポイントファールからのフリースロー、5のセンタープレー、8のスティールと連続得点。49-54で第3Qを終える。

第4Q薫英4のドライブからバスケットボールカウントでスタート。対する高南も8のドリブル突破から連続シュート。5もスリーポイントを決め、残り4分42秒、52-61となったところで薫英のタイムアウト。再開後、薫英6が連続スリーポイント、残り3分44秒で高南がタイムアウト。その後も薫英10がスリーポイントを決め同点、連続して薫英4のフリースローで逆転。高南がオールコートディフェンスからのスティールで追いつくも、再び薫英6のスリーポイントで66-63となったところで高南がタイムアウト。残り58.3秒、高南4が連続スリーポイントを決め逆転。66-69で高南が勝利した。両チームともに激しいディフェンスと気迫のこもったオフェンスで最後まで粘り強い、まさに決勝リーグに相応しい素晴らしい試合であった。

記入者：武本・湯井

女子決勝リーグ戦評③

令和6年7月29日	A③	13:05	高石市立高南中学校	12	14	9	12		47
東大阪アリーナ			樟蔭中学校	21	15	18	12		66

高南5・6・8・9・10、樟蔭4・5・6・7・8で試合開始。立ち上がりはどちらも強固なDFに得点を取ることができなかったが、均衡を破ったのは樟蔭4のドライブだった。その後も激しいDFのやりあいの中、樟蔭7の合わせで得点。高南も8のドライブで得点を取るが、樟蔭8から7への合わせ、樟蔭の連続得点でたまたまタイムアウト。その後も高南はファウルからのボーナスショットに苦しみ、樟蔭9点リードで1Qを終えた。

2Qに入り、高南のDFがより激しさを増し、徐々に試合の雰囲気が変わり始める。そんな中、代わって入った高南11が連続得点し、一気に点差が縮まり樟蔭はたまたまタイムアウト。落ち着きを取り戻した樟蔭はドライブからの合わせでリング下で得点を重ね、26-36の10点差で前半を折り返す。

3Q、10点差を追いかける高南はドライブを仕掛けるが、樟蔭のDFに阻まれてしまい樟蔭4のドライブからの合わせに連続得点をされる。高南8がドライブから得点をして流れを掴もうとするも、樟蔭6のスリーポイントが入る。お互い激しいDFの中、樟蔭が冷静に対応して点差を広げ、19点差で終了。

4Q、高南は点差を縮めようとDFでプレッシャーをかけ続けるが、樟蔭は4・6を中心に落ち着いて試合を進める。またサイズで上回る樟蔭は1試合を通してリバウンドで圧倒し、点差が縮まることなく47-66で樟蔭の勝利。樟蔭中学校が優勝を決めた。敗れた高南中学校も最後まで諦めず戦い抜いた。

記入者：濱口・青森

令和6年7月29日	B③	13:05	大阪市立城陽中学校	12	12	11	12		47
東大阪アリーナ			大阪薫英女学院中学校	19	8	9	21		57

城陽は4・5・7・11・14、薫英は4・6・9・10・11、薫英ボールでスタート。薫英9のショットからゲームが動き始める。続けて10のバスケットカウントが決まる。城陽は7のスリーポイントや5・11が果敢に攻め、得点を積み上げる。しかし、薫英の連続スリーポイントで点差が離れ、12-19で第1Q終了。どちらもオフェンスリバウンドやルーズボールに執着心を持ち、アグレッシブなオフェンスとなった。

第2Q、城陽4・7・11・14・15、薫英4・5・6・9・10でスタート。薫英は果敢に攻めるもショットが決まらず流れが掴み切れない苦しい時間が続いた。城陽は7・11のスリーポイントなどで着実に追い上げを見せ、24-27で前半終了。

第3Qは城陽4・5・7・11・14、薫英4・6・9・10・11でスタート。城陽7のスリーポイント、スティールからのブレイクでこのゲーム初めてのリードを奪う。その後も強い気持ちで戦い続けるが、薫英も激しいディフェンスでやり返す。気持ちがぶつかり合い、お互い一步も譲らない展開となった。35-36で3Q終了。

第4Qは城陽4・7・11・14・15、薫英4・5・6・10・11でスタート。薫英はバスケットカウント、ブレイク、スリーポイントで一気に流れを掴む。城陽も14・15がペイントエリア内で体を張ったプレーを見せ、粘り強く対抗する。だが最後に勢いに乗った薫英が点差を突き放し、47-57で勝利した。両チームこれまでの想いを胸に、暑い夏を締めくくる素晴らしい最終試合となった。両校の日々の努力を讃えたい。

記入者：浜口・村岡